ミニカワしんぶん！

第3号！

第0003号
2020年（令和2年）10月30日発行

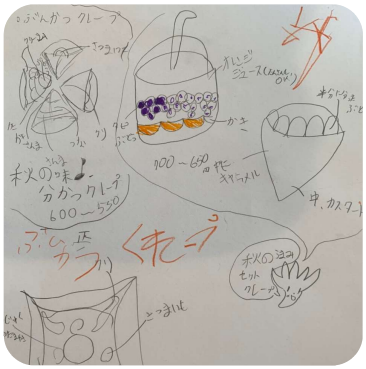
ヒット商品開発研究所！ミニカワサキ×キッズ・マネー・ステーションWS開催！

こどものまちをたのしいまちにするには、たのしいお店がたくさんならんでいてほしい！そして、たくさん売れたら、お店をするオーナーもうれしい。でもどんなものだった売れるんだろう？去年のミニカワでは、売れすぎるお店と、売れないお店がありました。そのちがいってなんだろう？
9月5日（土）、ミニカワサキおかねとしくみチームの活動として、こどもたちにものやおかねの大切さを伝えている、キッズ・マネー・ステーションさんにきてもらい、「ヒット商品開発研究所！」というワークショップを行いました。武蔵新城駅前にある、『Book＆Cafe Stand　Shinjo Gekijo』さんにご協力いただき、秋の新商品を考えました！

会場はパサールベースさん！ミニカワをいつも応援してくださっています。

まず、グループに分かれて、やくわりを決めました。私は、企画部長をしました。主に話し合いの中心となる人です。
次に、話し合いをします。ヒット商品をつくるには、どういうものが食べたいか、デザインはどうするかなどを子どもたちで話しました。その場にいた大人の人たちにも、実際の意見としてどういうものがいいか、値段はいくらだったら買いたいかも聞きました。
そのあとは市場ちょうさです。『Shinjo　Gekijo』へ実際に行って、クレープはどんなものがあるか、値段はいくらか、お店のふんいきはどうかなどをしらべました。実際にクレープを買って、食べてみたりもしました。最後に、考えたクレープを発表しました。私たちのグループは、四つに分かれたクレープを考えました。
ヒット商品を考えるのは大変！ゲームや本、文具におもちゃ、どんなヒット商品もじみちに会議をして、どんなものがもとめられているのかを考えているのだとしりました。これからは、買うものがどうやって作られたのかをかんがえながらつかいたいです　（ゆうこ）

ぼくは宣伝部長をやりました。クレープを食べたことがなかったからわからなかったけど、買いに行ったらわかっておもしろかったです。（がく）



絵にかいたり、紙でパッケージをつくってみるチームもありました。
実際にお店に行って食べたクレープはおいしかった！

ミニカワしんぶん！プレゼント企画

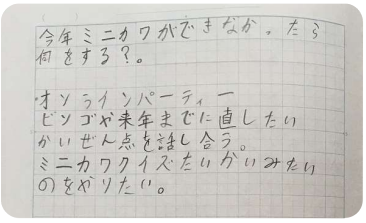
ミニカワしんぶん！の感想を応募フォーム（下のQRコード）から送ってください。
送ってくれた人の中から3名様に「秋の香りハートの匂い袋」をプレゼントします！

ミニカワしんぶん！は、「こどものまちミニカワサキ」運営メンバーがつくる活動紹介誌です。2日間のイベント「こどものまちミニカワサキ」をつくるために集まった運営メンバー、コロナ禍でも続けている活動を紹介し、来年のミニカワサキ開催に繋げるため、ミニカワしんぶん！をつくりはじめました。
ミニカワしんぶん！はホームページでもご覧いただけます

後援：川崎市教育委員会
　　令和2年度かわさき子どもの権利の日市民企画事業
助成：令和2年度かわさき市民公益活動助成金
　　ステップアップ30助成
発行：こどものまちミニカワサキ2020実行委員会
　　minicity.kawasaki@gmail.com

オンラインミニカワサキができるまで（前編）

こどものまちミニカワサキ2020は、会場開催を断念することになったあと、子ども達発案で
ミニカワサキのオンライン企画をすすめています。初めてのとりくみに試行錯誤を繰り返しています。
オンラインミニカワサキができるまでを紹介します！



5月はじめ、昨年のミニカワサキこどもスタッフを対象に、運営メンバーを募集しました。募集にあたり「今年は開催できないかもしれない、その場合どうしますか？」と質問。この時点で「オンラインで」という言葉が子ども達からとびだしました

緊急事態宣言下の5月、ミニカワサキ運営会議をスタート。
Zoom会議でのスタートでしたが、Zoomをつかいこなす子ども達！
大人は既にタジタジ！子ども達発案でできることはたくさんありそうです

7月の運営会議、また感染拡大が広がり始めたことに、子ども達は危機感をもち、やっぱり会場開催はできないんじゃないか、と考え始めていました。会場開催ができても、入場制限をすることになりそう。それなら、オンライン「中継」ができたら面白いかも！
興味のある子達で検討をしていくために、チーム体制での検討をスタート。

7月末、予定していた会場からの中止の要請をうけ、会場開催を断念することに。やっぱり会場でやりたかったね・・・と予定していた会場を見学しにいき、この会場をマインクラフトで再現してみよう！とマイクラチームが発足。
でも、再現してみたものの、うーん。。。再現、必要？？
ゼロから作るなら、理想の街をつくるのが、いいんじゃないかなぁ。

つづく…！

こどものまちミニカワサキとは こどもの こどもによる こどものためのまち！

こどものまちミニカワサキは、18才以下の子ども達が、子どもだけのまちをつくるプログラムです。年に1回、2日間の「こどものまちミニカワサキ」を開催、その準備のためのこども会議、運営会議を行っています。

①自分のまちを知り、好きになるこどもを増やすこと
②子ども達が、いろんな世代の人とコミュニケーションの機会になること
③参加するこどもの成長を支え、見守ることにより、大人も成長すること
④川崎のまちづくりや子育てに興味を持つ市民同士が繋がる機会になり、まちの底力をあげること

の4つを目的に、想いを共有した市民が、個人として自由な繋がりで行う市民活動として2018年にスタートしました。
当初は大人が運営し、子ども達が参加するカタチでスタートしましたが、2020年度からは、子どもが運営メンバーに加わり、全体の運営、仕組みづくり、広報宣伝、渉外などを大人と子ども共同で行っています。